

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	都市空間

目指す姿

- 計画的な市街地の形成、適正な土地利用が図られています。
- 公共施設のバリアフリー化など安全で快適な市街地整備が推進されています。
- 適切な景観、開発、建築指導により、質の高いまちなみが形成されています。
- 豊かな自然が保全されているとともに、緑あふれる公園が適切に維持管理されています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）自然と調和した美しいまちなみが整っていると感じる市民の割合	69.7%	-	66.3%	-		-	UP	都市計画課
（主）歩道を安心して通ることができると感じる市民の割合	51.9%	-	45.8%				UP	道路課
（客）都市緑化に対する助成件数	446件	504件					600件	河川公園課

●施策の方向性①適正な土地利用の推進

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
71101	ごんぼ積み地区都市再生整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○川島地区には「ごんぼ積み」集落が現存しているが、そこに住む市民はその希少性を認識していないため、この町並み景観を歴史的文化遺産として保全し、広くPRすることで、まちの魅力の向上と活気あふれるまちづくりを推進していく。</p> <p>○現在、地区内の道路整備用地の取得に向け、地権者と交渉を重ねている。また、ごんぼ積みの沿道を回遊路として活用するために、景観に配慮した散策路整備とPR看板の設置を予定しており、事業内容について地元の理解が必要となっている。</p> <p>○今後もこれまで以上に、市民に対する説明会の開催や、地権者に対する個別説明など、様々な機会を通じて事業目的をしっかりと伝えて、事業に対する理解と協力を得るよう努め、平成30年度完了を目指し事業を推進する。</p>	都市計画課
71102	木曽川～夢と浪漫～まちづくり事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○犬山市との観光連携を深めるために、木曽川と大安寺川に安全で快適な遊歩道を整備し、回遊性を高める散策路の整備を行っている。</p> <p>○地元からは、木曽川遊歩道の早期完成が求められているが、河川区域内の作業となるため、雨などの河川の増水により作業中止となる事が想定され、作業工程に遅れが生じることが危惧される。</p> <p>○工事の早期発注に努めるほか、着実な工程管理を実施するために、木曽川を管理する木曽川第一出張所や犬山頭首工と綿密な連絡体制を整えることで、工事の遅れが生じないように努める。</p>	都市計画課
71103	新加納地区都市再生整備事業（Ⅱ期）	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○「中山道間（あい）の宿新加納」の歴史的まちなみを整備するとともに、通学路となる那422号線に安全な歩行帯を設置する。また、周辺地域の景観に配慮した都市公園の整備のほか、地区内の土地区画整理事業を支援することで魅力と活気あふれるまちづくりを推進する。</p> <p>○地元自治会より那422号線の早期完成を望まれているが、名鉄・JRとの事前協議では踏切幅員は困難であるとの回答を得ているため、現道幅員で歩行者が安心して歩けるよう計画する必要がある。</p> <p>○今後は、名鉄・JRに対し更なる要望、協議を行い、踏切幅員内での歩行帯の設置を強く要望していく。また、北側県道交差点については、県との協議を進め、安全な道路整備を推進することで、一体的な歩行帯の確保に努める。</p>	都市計画課

71104	鵜沼駅東部第二地区都市再生整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○鵜沼駅東部第二地区は平成27年度が事業の最終年であるため、事業実施前に設定した数値目標や達成状況の確認を行う事後評価を実施した。</p> <p>○国道21号から犬山橋までのアクセス道路が整備され、交通の利便性は向上したが、地区外からの交通量が増加することが想定され、交通安全の確保が必要となる。また、防犯・防災意識を高めるために、区画整理により新たに誕生した桜木町の住民による地域コミュニティを形成していく必要がある。</p> <p>○今後、交通量が増加した場合には、地区の安全・安心で住みよい住環境を守るため、関係機関と連携し必要な交通安全対策を講じていく。また、地域コミュニティによる具体的な共助の体制が構築できるよう、まちづくり推進課と連携し、自治会等が行う活動に対し支援する。</p>	都市計画課
71105	土地区画整理支援事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○土地区画整理事業の候補地において、関係地権者に対し事業の内容や効果について説明会及び個別説明を行った。</p> <p>○説明を行った後、全地権者に意向調査を行った結果「未利用地の解消に向け推進して欲しい」という賛成者がいる一方、「土地を今のままにしておいて欲しい」、「土地を減らすことに納得がいかない」等の反対意見も多数あり、全員同意が得られず見送りとなった。</p> <p>○今回見送りとなった候補地については、今後地権者からの要望があれば再度支援を行う。今後も未利用地の解消に向け、地権者からの要望に基づく新たな候補地において、組合施行による土地区画整理事業立上げに向けた説明会等の支援を行うことで、適正な土地利用を促す。</p>	都市計画課
71106	新那加駅周辺地区都市再生整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○バリアフリー法対象となる名鉄新那加駅において、誰もが安全で快適に利用できるよう移動の円滑化と、段差解消、エレベーターの設置など、快適な駅利用を推進するための整備を行っている。</p> <p>○駅へのアクセスには既存の階段に隣接して新たにエレベーターを設置する必要がある。設置者や管理者について、名鉄と協議を要する。</p> <p>○名鉄所有の駅構内通路と市が整備した構内通路を一体的に利用することで、駅利用者以外も自由通路として通行が可能となっている。このような構造物の所有区分に応じた形態でエレベーターの設置者が決定されるよう、協議をまとめていきたい。</p>	都市計画課

●施策の方向性②魅力的な都市空間の形成

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
71201	空家等対策事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○住宅土地統計調査によると市内の空家率は約13%であり、空家の流通促進及び適正管理を図るため、空家の実態調査を行った。</p> <p>○深刻化している空家問題について、現状を把握し、適正に対処していく必要がある。</p> <p>○空家が多い市内6地区においてアンケート調査を行った結果をもとに、シルバー人材センターとの連携による見守りサービスを行うなど、空家の適正管理を推進するとともに、モデル事業としてDIY型リノベーション事業を実施して利活用を図り、空家の有効活用を促していく。</p>	企画政策課

●施策の方向性③公園・緑地の保全

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
71301	都市公園等整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○全面芝生の公園にするなど、緑豊かな公園とするために、緑化面積を増やす整備を推進している。</p> <p>○ワークショップでは、市民から様々な意見や要望をいただくが、すべての意見を計画に反映することは困難なため、市の整備方針と市民ニーズとのマッチングに苦慮するところである。</p> <p>○公園工事の際には、市民参加による芝張り作業を実施している。これにより、「自分たちの公園」といった意識の醸成と合わせ、緑を育む意識の向上が図られている。今後もこの取組みを続けることで、本市の緑化政策に対する市民の理解を深めていく。</p>	河川公園課
71302	緑化推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○「たけのこまつり」「河跡湖フェスティバル」の緑化イベントの開催や、花苗等の配布、緑化活動への助成等による緑化啓発活動を実施している。</p> <p>○イベント内容がマンネリ化しているため、見直しが必要である。また、花苗の配布数については、パークレンジャー等の団体から希望がある苗数を概ね確保できているが、同時に配布するリサイクル堆肥については足りていない。緑化等補助制度については、まだまだ周知されていない現状があり、制度の周知をさらに行っていく必要がある。</p> <p>○緑化イベントの来場者数を増やすために、既存の趣きを維持しながら新たなプログラムを追加するなど、イベントの見直しを行う。また、堆肥の製造については、作業の効率化を図っていくことで生産性を高める。緑化助成については、広報紙による周知だけでなく、ハウスメーカーや外構工事等を行う施工業者に対しても助成制度の周知を図る。また、ブロック塀撤去についても、通学路沿線の該当箇所を調査し直接訪問するなど、職員による積極的な啓発活動を実施する。</p>	河川公園課

●施策の方向性④岐阜基地周辺環境の整備

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
71401	学習等供用施設改修工事事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○地域住民の集会、学習活動環境の向上を図ることを目的に、自治会からの要望に基づき、老朽化した集会場を計画的に改修している。27年度は鶉沼台コミュニティセンターと那加織田町集会場の改修を行った。</p> <p>○今後、老朽化に伴う施設改修の増加が見込まれるが、防衛省補助（8条）で建設した集会場であっても、第1種区域外で基準以上の音が測定できない集会場は8条補助対象外となる。</p> <p>○そのような場合には、9条交付金対象などに切り替えるとともに、市庁舎建設等他事業の影響も考慮しながら、防衛省の補助金・交付金を効率的に活用し、改修を進める。</p>	総務課
71402	学習等供用施設建設事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○事業が計画通り進められるよう、市内集会場の見学ツアーや打ち合わせの実施など、自治会と連携して設計に向けた準備を行った。</p> <p>○29年度に1カ所の建設を予定しており、28年度は設計業務委託契約を締結するとともに、補助金交付申請等に必要手続きを進める。</p> <p>○設計業務の委託にあたっては、提案競技方式により、当該施設の設計に最適な設計者を選定する。また、自治会と連携を図り、利用者のニーズにあった施設の設計を目指す。</p>	総務課

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	交通体系

目指す姿

- 本市と近隣市町とを結ぶ主要な広域幹線道路が整備されています。
- 交通混雑箇所の解消、自転車利用を視野に入れた道路など、利便性や安全性の高い市内幹線道路が整備されています。
- 狭あい道路の改善や舗装、側溝整備など、身近な生活道路が整備されています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）円滑に移動できる道路網が整備されていると感じる市民の割合	53.8%	-	50.8%	-		-	UP	道路課
（客）市道整備（新設・改良）延長	-	1,134m					7,000m	道路課
（客）狭あい道路整備件数	15件	23件					45件	建築指導課
（客）歩道バリアフリー化整備延長	-	1,538m					8,000m	道路課

●施策の方向性①広域幹線の整備

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
72101	日野岩地大野線整備事業（市道那378号線）	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○本市西部地区で岐阜市と南北に接続する広域幹線市道の改良及び自転車歩行者道の設置に向け、事業を実施している。</p> <p>○圃場地域における工事であるため、稲作期の地下水位が高く構造物設置の掘削に支障があり、施工可能期間に制約がある。また、いちよう通り交差点において、県との協議により交差点形状の見直しが必要となっている。JR踏切部においては、盛土軌道の安全を確保するため擁壁構造の見直しが必要である。</p> <p>○稲作期の終了に併せ複数箇所現場に着手できるよう、工事発注方法及び工期設定に留意する。検討箇所の修正設計を実施し、早期に詳細設計を確定するとともに未取得の用地2件の契約締結に向け、地権者との折衝を進める。</p>	道路課
72102	犬山東町線バイパス整備事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○本市東部地区で犬山市と南北に接続する広域幹線市道のバイパス新設及びバリアフリー歩道の設置に向け事業を実施している。</p> <p>○国土交通省交付金の配分が厳しい状況が続いており、計画的な完成に向けた財源が不足している。また、取得用地の発掘調査に不測の期間を要しているほか、供用開始時の交通処理計画について、最適案の検討と地元調整が必要であるため、事業期間の延伸が見込まれる。</p> <p>○交付金の確保に向け関連する県事業と併せ積極的な要望活動を実施し、財源確保に努める。また取得用地の発掘調査を計画的に実施し、順次工事に着手するとともに、交通処理計画については地元及び関係機関との調整を図り、効率的な計画を選定する。</p>	道路課

●施策の方向性②市内幹線道路・生活道路の整備

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
72201	地区計画道路整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○平成26年度から27年度にかけ、28年度に整備する各務原南13号・15号の事業説明及び用地買収を行った。</p> <p>○地区計画道路の整備路線の選定については毎年見直しを行っているが、道路計画区域内に建物や工作物など、物件移転補償を必要とする事案もあり、全区間整備が不可能となり、道路整備率が上がらないことが課題である。</p> <p>○今後は、支障物件が少ない路線も整備対象として計画するなど、宅地の需要が多い地区を重点的に路線調査を行い、着実な工事実施に努める。</p>	都市計画課

72202	市道鶴1226号線外1道路改良事業（市道鶴984号線）	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市内幹線道路の車道舗装更新及び歩道のバリアフリー化を図るため事業を実施。平成27年度末に事業が完了した。</p> <p>○計画路線の一部区間では、地形の特性上、沿線の住宅利用が見込まれないため、現状の道路構造で安全な歩道が確保されている状態である。このため、今回道路改良を実施することの必要性が乏しく、事業効果に問題があると言える。</p> <p>○未実施の区間も、歩車分離されており一定の機能が確保されていることから、本事業の対象から外し、事業完了とする。今後は、舗装の老朽化・歩行者安全対策の需要に応じ、必要な時期に改良の必要性を検討する。</p>	道路課
72203	市道那837号線道路改良事業（尾崎中央通り）	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市内幹線道路の車道舗装更新及び歩道のバリアフリー化を図るため事業を実施している。</p> <p>○人口密集度の高い住宅団地へのアクセス道路であり、通学路に指定されている路線だが、歩道が片側しか設置されておらず、地元から両側歩道整備を強く望まれている。工事の進捗は順調に進んでいるところだが、工事施工に際しては、交通規制や仮設歩道の設置など、万全の安全対策が必要である。</p> <p>○工期設定には、十分な余裕を確保するよう、工事の早期発注に努める必要がある、また、工事期間中は信号による片側交互通行のほか、必要に応じて交通整理員を配置し、歩行者に対する誘導を行うなど、十分な安全対策を講じる。</p>	道路課
72204	市道蘇北558号線外1道路改良事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市内幹線道路の車道舗装更新及び歩道のバリアフリー化を図るため事業を実施し、平成27年度末に事業が完了した。</p>	道路課
72207	市道那1043号線外1道路改良事業（さくら通り）	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○当該路線は、道路幅員が不足していることで、車両のすれ違いや自転車・歩行者の通行における危険が大きいため、道路拡幅により安全な歩道を整備するものである。</p> <p>○国土交通省交付金の配分状況が厳しく財源が不足しているため、用地取得を中心に事業を進めている。</p> <p>○用地取得範囲を最小限に留めるため、法面幅員を有効に活用し、必要な歩行者空間を確保する。工事の早期着手に努め、効率的な施工により安全な歩道を順次供用する。</p>	道路課
72208	市道那168号線外1道路改良事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○日野岩地大野線の延長路線であり、岐阜市と南北に接続する広域幹線市道の改良及び自転車歩行者道の設置に向け事業を実施している。</p> <p>○圃場地域における工事であるため、稲作期を外して工事を行う制約がある。また工事施工に際しては、現道幅員狭小により車両のすれ違いや自転車・歩行者の通行における安全措置が必要となる。</p> <p>○稲作期の終了に併せて現場に着手できるよう、工事発注方法及び工期設定に留意するとともに、地下水位に影響される掘削作業を今年度で完了できるよう努める。これにより次年度の通年施工を可能とし、早期に歩道設置を進め計画どおりの事業完了を図る。</p>	道路課

72209	市道那616号線道路改良事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○市街地を結ぶ主要な南北道路として、歩行者の安全と交通利便性を高めるために整備を実施している。</p> <p>○歩道が未整備の路線であり、幅員も不足していることから、車両のすれ違いや自転車・歩行者の通行における危険が大きい。計画的な用地取得を進めているが、まとまった区間の取得には期間を要しており、効率的な工事の進捗が図りづらい。</p> <p>○用地境界の構造物については、地権者の要望に応え先行して築造するとともに、用地取得済み区間がまとまり次第、順次拡幅及び歩道設置を進め、狭あい区間の解消を図る。継続して地権者との折衝を進め、早期に全線にわたる安全な歩道の確保に努める。</p>	道路課
72210	鵜沼南町周辺生活道路整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○犬山東町線バイパスによる地区の分断解消とバイパスへの円滑な接続を図るため、狭小道路の拡幅整備を実施している。</p> <p>○工事はバイパス整備に先立って施工する必要があり、周辺住民の生活に大きな影響が及ばないよう、配慮して施工する必要がある。</p> <p>○地元自治会に対し、事前に工事施工時期を詳細に伝えて、円滑な施工計画を立案する。また、全面通行止めの際には、車両の一時保管場所を確保するなど、十分に配慮する。</p>	道路課
72211	市道各443号線道路改良事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市街地を結ぶ主要な市内幹線道路の改良及び歩道の設置に向け事業を実施している。平成28年度上半期末にて完成の見込み。</p> <p>○歩道が未整備の路線であり、通過交通量が多いことから、車両のすれ違いや自転車・歩行者の通行における危険が大きい。</p> <p>○施工に際しては、交通整理員を配置し、歩行者を誘導するなど、十分な安全対策を実施する。防衛省補助の採択により、平成27年度国債工事を発注し、連続的な工事の進捗を図っている。また、関係機関及び占用工事との調整を進め、早期の事業完了に努める。</p>	道路課
72212	市道鵜36号線道路改良事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市内幹線道路網の充実を図るため事業として実施し、平成27年度上半期に事業が完了した。</p>	道路課
72212	狭あい道路整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○防災や救急等の点から狭あい道路の拡幅の必要性等を窓口等で啓発し、市民の理解と事業の推進に努めた。</p> <p>○啓発活動により、住民への認知度が上がり、事業への関心度が高くなり協力を得ることが多くなってきたが、整備基準等により協議に至らない案件もあり、運用基準などの見直しを図る必要がある。</p> <p>○整備要綱で対象となる案件が限定的な部分があり、防災・救急等の面から拡幅等を推進するために、建築を伴わない場合の特例等運用基準の見直しを図ることで、より多くの狭あい道路整備を進めていく。</p>	建築指導課

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	上下水道・河川

目指す姿

- 上水道、下水道が適切に整備、管理され、市民の快適な生活が確保されています。
- 雨水幹線、河川、貯留浸透施設の整備により、豪雨などによる浸水被害から市民の生命や財産が守られています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）各務原の水道水を安心して飲むことができると感じる市民の割合	79.9%	-	76.5%	-		-	UP	水道総務課
（客）下水道普及率	77.1%	79.4%					83.5%	下水道課
（客）雨水幹線整備延長	37 k m	37.7 k m					39 k m	河川公園課
（客）水道管路の耐震化率	23.6%	26.6%					33.4%	水道施設課

●施策の方向性①水道水の安定供給

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
73101	水道施設等更新事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○安全で安心な水を安定して供給するために、水源地や配水地など主要な水道施設を計画的に更新する。</p> <p>○日常の点検等の結果を参考に、機器の常態を見極めて、経年化施設の修繕、更新等の計画的な実施が必要となる。また、水道施設を稼働しながらの施工となるため、水質事故、断水事故を起こさないよう十分に注意する必要がある。</p> <p>○施工計画を綿密に検討し、事故を未然に防ぐことで、安定した供給体制を構築していく。また、このような取組みを出前講座や施設見学、イベント出展などあらゆる機会を通じて積極的にPRし、各務原の水道水が「いかに安心・安全であるか」など、広く市民の理解・関心を高める。</p>	水道施設課
73102	水道施設・設備耐震化（水道施設・配水管）整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○災害時におけるライフラインの確実な確保に向けて、耐震性を有しない老朽管路の耐震化を進めるとともに、基幹管路（導水管・送水管・配水本管）への耐震補強金具の設置により、耐震化率の向上に努めている</p> <p>○国による算定基準の見直し等により、工事価格が上昇傾向にあるなか、更新率を維持する必要がある。また、水道施設を稼働しながらの施工となるため、水質事故、断水事故を起こさないよう十分に注意する必要がある。</p> <p>○今後は、資材単価の見直しや小規模な工事をまとめて発注することにより、経費の抑制に努めるとともに、他機関の工事に併せて管路更新を行い、舗装復旧費の削減に取り組んでいく。また、施工計画を綿密に検討し、事故を未然に防ぐ。</p>	水道施設課

●施策の方向性②公共下水道（污水）の整備及び維持管理

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
73201	下水道管渠布設事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市街化区域についての公共下水道の整備は概ね完了したため、今後は市街化調整区域の既存集落地区で下水道整備を進め、下水道普及率の上昇を目指していく。</p> <p>○国の補助採択の状況によって財源不足が生じることで、事業量の伸びが鈍化し、それにつれて下水道普及率の伸びも鈍化していく可能性がある。また、水洗化率向上のため、下水道が整備された区域内に住んでいる下水道未接続世帯に対し、あらゆる機会を通じ下水道への接続を促す必要がある。</p> <p>○公共下水道の整備にあたっては、国庫補助金を財源とする事業となるよう、国等への情報収集に努め、補助採択が受けられるよう積極的に働きかけていく。また、下水道水洗化率向上のためには、広報紙以外にも、下水道概要説明会、下水道工事説明会、戸別訪問など直接住民と接するあらゆる機会を捉え、下水道接続の普及啓発を積極的に行っていく。</p>	下水道課

●施策の方向性③公共下水道（雨水）及び河川の整備

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
73301	雨水施設整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○公共下水道雨水事業において、浸水被害が多発している区域を優先して雨水施設の整備を実施している。</p> <p>○社会資本整備総合交付金による下水道事業において雨水施設の整備を実施しているが、現時点の事業計画区域の整備率は70%程度であるものの、全体の計画区域としては20%程度の整備率でしかない。雨水幹線の整備は1m当りの事業費が大きく、国からの補助金の交付状況や市の財政状況から早期整備完了までに相当期間を要する。</p> <p>○浸水被害が頻発している区域を優先して、雨水幹線の整備を実施していく。また、雨水幹線の整備が遅れる区域においては、校庭貯留施設など一時的に雨水を貯留する施設を整備して雨水の流出を抑制し、浸水被害の軽減を図る。さらに既設水路の通水断面を確保するため、堆積土砂の浚渫や清掃など維持管理を強化する。</p>	河川公園課
73302	排水路改良事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○平成27年度に下切町排水路改良工事が完成し、浸水被害の軽減が図られた。今年度は那加甥田町地内の浸水被害を軽減させるため、百曲第2排水区実施設計において排水ポンプの設置を検討し、長年懸案となっている甥田町地区の浸水被害を防止させたい。</p> <p>○那加甥田町地区の被害状況を県に報告し、積極的な協議を進め、排水ポンプによる新境川への影響を検証したことで、県から概ね事業の了解が得られた。今年度の実施設計において、河川協議の資料を整理する。</p> <p>○今後は、放流先となる県管理の新境川であることや、排水ポンプの設置箇所が那加第二小学校の敷地内となることなどから、関係機関と慎重に協議を進めていく。</p>	河川公園課

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	都市基盤の機能強化

目指す姿

- 路面舗装、歩道橋、橋梁等の道路構造物、公園施設、公共下水道施設の補修が計画的に行われ、既存の施設が大切に活用されています。
- 補修工事の際に、施設の状況を踏まえ、補強や耐震などの機能強化が図られています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
（主）身近な公園や道路などで再生が図られ、利用しやすくなったと感じる市民の割合	53.1%	-	50.5%	-		-	UP	河川公園課
（客）幹線道路の舗装打換実施路線数	-	1路線					6路線	道路課
（客）橋梁耐震補強・補修箇所数	-	2橋					15橋	道路課
（客）公園施設の長寿命化・リニューアル数	41箇所	56箇所					85箇所	河川公園課

●施策の方向性①公共施設の長寿命化

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
74101	橋梁長寿命化事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○劣化・損傷により大きな社会的損失が生じることを避けるため、年次計画に基づき、橋梁の適切な維持管理修繕を実施している。点検・修繕のメンテナンスサイクルは永続的に必要で、事業量の平準化を要する。</p> <p>○国土交通省交付金の配分状況が厳しい中、橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の補修及び耐震補強を順次実施している。工事施工内容の大半が渇水期に制限されるため、計画的な発注及び工期設定が必要である。また、経費及び物価の高騰により、設計完了・工事未着手の案件が蓄積しており、効率的な工事実施が必要である。</p> <p>○修繕の緊急度が高い橋梁に交付金・市予算を重点配分し、着実な進捗を図る。発注にあたっては、施工可能期間に合わせた工期設定、工事量の配慮を行うとともに効率的な点検・修繕サイクルの確立に努め、事業経費の平準化を進める。</p>	道路課
74102	公園施設長寿命化事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○市が管理する全ての公園について、長寿命化計画の策定により、経費の平準化と適切な管理を実施する。財源となる国庫補助金額の配分見込みが立ちにくいなか、計画的に事業の推進を図る必要がある。</p> <p>○市が管理する180箇所の都市公園のうち、103の公園については未だに長寿命化計画が策定されていないことから、修繕の必要性の全体が把握できていない。このため、真に老朽化が進んだ施設の取替えに対して速やかに対応がすることや、計画的に修繕工事を進めていくことが困難である。</p> <p>○計画が策定されていない残りの103箇所の公園に対し、早急に長寿命化計画を策定して全体の老朽度を把握するとともに、遊具点検等と連動した柔軟な計画の見直しを随時行っていく。また、遊具等の修繕時には、配置変更の検討など住民ニーズに対応していくことなどを広く市民に情報提供に努めていく。</p>	河川公園課
74103	市営住宅改修等整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市営住宅については、老朽化した水回り設備の更新を実施しており、便所の取替え完了後、流し台の取替え工事に移行している。現在、291箇所のうち80箇所を取り替えたところであり、今後も計画的に取り替えを実施していく。</p> <p>○耐震補強工事や屋上防水・外壁改修工事を行ったことで、構造体の長寿命化は進んでいるが、今後は耐用年数が短い給水管及び排水管の取替えが必要となる。しかし、市営住宅の給排水設備は、点検や更新を考慮されていない構造となっており、住民が居住したままの更新作業は大変困難であると考えられる。</p> <p>○給排水設備の更新作業期間中は、日常生活に大きく支障を来たすことが想定されるため、空き部屋となったタイミングを見計らって工事を開始するなど、状況に応じた柔軟な施工体制を構築する。</p>	建築指導課

74104	下水道長寿命化事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○長寿命化計画を策定し、昭和40年代後半に造成された大型団地において、老朽化が進んでいる管渠の更生及び布設替を予定どおり行っている。</p> <p>○長寿命化事業についても、国の補助配分が年々厳しくなっている。現在、緊急度が高い管渠を実施しているが、調査の結果において老朽化が進行していない管渠は管更生及び布設替を見送ったため、それらについて突発的な事故が起こらないよう今後も管路の状態を見守っていく必要がある。</p> <p>○下水道の長寿命化事業実施にあたっては、国庫補助金を財源とする事業となるよう、国等への情報収集に努め、補助採択が受けられるよう積極的に働きかけていく。また、現時点で老朽化していない管渠についても今後は老朽化が進行していくため、公共下水道全体のストックマネジメント計画を策定し、効率的な維持改修に努める。</p>	下水道課
74105	公園建物施設改修等整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○現在策定されている長寿命化計画においては、概ね計画どおりに進捗している。</p> <p>○長寿命化計画を策定し、事業費の平準化を図った計画としているが、国庫補助金の配分減により予算不足となった場合には、長寿命化計画に遅れが生じることになる。これにより施設の老朽化が急速に進行した場合、取替え等に対して速やかな対応ができないことが懸念される。</p> <p>○長寿命化計画では、予防保全型改修の考えを取り入れ、施設が損傷する前に取替えや改修を行うこととなっているため、現地の状況を把握した上で、優先順位を見直すなど、柔軟に整備箇所を選定していきたい。</p>	河川公園課

●施策の方向性②施設の高付加価値化

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
74201	道路維持改良事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○劣化・損傷により大きな社会的損失が生じることを避けるため、点検結果に基づき、道路ストック（法面、擁壁、ブロック積等）の適切な維持管理修繕を実施している。点検・修繕のメンテナンスサイクルは永続的に必要で、事業量の平準化を要する。</p> <p>○国土交通省交付金の配分状況が厳しい中、莫大な道路ストックの老朽度、修繕の緊急性を早期に把握し、計画的な修繕を進めるとともに、台帳管理されていないストックの総数把握及び点検実施を早期に行う必要がある。また、経費及び物価の高騰により、修繕工事未着手の案件が蓄積しており、効率的な工事実施が必要である。</p> <p>○修繕の緊急度が高い道路ストックに交付金・市予算を重点配分するとともに、事業量の平準化に努め、着実な進捗を図る。また、職員によるパトロールを併用し、道路ストックの総数把握と台帳整備を進めるとともに大規模発注により経費の縮減に努め、高効率な修繕工事を実施する。</p>	道路課

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	公共交通

目指す姿

- 地域住民が利用しやすい公共交通ネットワークが形成されています。
- ふれあいバス等が市民の移動手段として活発に利用されています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
(主) ふれあいバスを利用しやすいと感じる市民の割合	14.8%	-	15.6%	-		-	UP	商工振興課
(客) ふれあいバスの年間利用者数(年間)	135,620人	172,151人					200,000人以上	商工振興課

●施策の方向性①公共交通ネットワークの形成

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
75101	公共交通ネットワーク形成事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○より利便性の高い公共交通ネットワークを形成するため、公共交通ネットワーク形成計画及び公共交通会議における審議結果に基づき、平成27年10月にバス路線の改編を行った。</p> <p>○大改編により概ね順調に公共交通ネットワークを形成しているが、実際の運行によって判明した地域の課題を解決する必要がある。</p> <p>○今年度中に市内12箇所でバス懇話会を実施するほか、要望が強い地域については、適宜懇話会を実施する。また、ふれあいバスの乗降調査を実施し、実際の乗降実態や乗客の声を拾い上げ、ニーズ分析を行い、年度末までに路線のミニ改正を行う。</p>	商工振興課

●施策の方向性②ふれあいバスの運行

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
75201	ふれあいバス運行事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○公共交通に伴う路線変更が浸透するまで、一般的にはしばらく乗車数が伸び悩むと言われる中、平成27年10月に行ったバス路線リニューアルの結果、乗降者数増が顕著に現れた。</p> <p>○長大化していたバス路線を効率化したため、路線が複雑となっている部分があり、新路線が利用者に浸透するよう丁寧に説明していく必要がある。</p> <p>○地域のバス乗降ボランティアとの連携を強化するとともに、乗り方教室やバスの周知イベントを開催し、利用者数の増加に繋げる。</p>	商工振興課